総務省統計局

統計調査ニュース

令和６年（2024年）10月　No.455

統計データ利活用センターの取組

統計データ利活用センター長　森本　聡

統計データ利活用センターは、平成30年４月1日に先進的なデータ利活用の推進拠点として和歌山県に開設しました。近年、国や地方公共団体、学術研究分野において「証拠に基づく政策立案」（EBPM）を実現するため、統計データ利活用のニーズがますます高まっています。社会の情報基盤である統計データの利活用を推進するために当センターが行っている主な取組を紹介します。

まず、「オンサイト施設」（情報セキュリティが確保された環境で、許可を受けた研究者等がミクロデータを用いて独自の集計・分析を行うことができる専用室）の運用・管理を行っています。全国の大学や研究機関へのオンサイト施設の設置を推進しており、当センターを始め、全国22箇所に設置されています。今後も積極的な働きかけを行い、オンサイト施設の全国展開及びオンサイト利用の普及を推進してまいります。

また、統計データを利活用した優れた取組を進める地方公共団体に対する表彰を実施しています。応募いただいた取組事例については、地方公共団体の統計データ利活用の取組を情報面から支援することを目的として、地方公共団体のためのデータ利活用支援サイト「Data StaRt」などを通じて周知を行っています。

このほか、人材育成の取組も進めています。地方公共団体が主催する研修会等に当センターから講師を派遣し、EBPM概要や、行政データ・統計データ等を活用して行政課題を解決する具体的な取組事例の紹介を行っています。さらに、ビジネスパーソンを対象に開催しているウェブセミナーでは、企業等における統計データの利活用可能な人材育成及びデータサイエンススキルの裾野拡大を目的に、統計学の基礎知識や統計データのビジネスへの活用などについて解説しています。

統計データ利活用センターは、これからも皆様と連携して、データ利活用を推進してまいります。引き続きの御支援を賜りますようお願い申し上げます。

目　次

統計データ利活用センターの取組……1
令和7年国勢調査の円滑な実施に向けて（その4）
－令和7年国勢調査の実施計画案－……2
統計からみた我が国の高齢者……4
地方統計大会等の開催予定（令和6年度）……5
令和7年度概算要求の概要……6
とうけい通信㉟
家計調査からみる前橋市／群馬県……7

令和7年国勢調査の円滑な実施に向けて（その4）

－令和7年国勢調査の実施計画案－

総務省統計局では、令和７年国勢調査の円滑な実施に向けて様々な準備を進めており、前号（９月号）では広報キャラクターの決定等について御紹介しました。

今回は、令和７年国勢調査の実施計画案について御紹介します。

※　執筆時点で統計委員会に諮問中であることから実施計画案としています。

◇　調査の目的

国勢調査は、統計法（平成19年法律第53号）第５条第２項の規定に基づいて実施する人及び世帯に関する全数調査（基幹統計調査）で、国及び地方公共団体における各種行政施策その他の基礎資料を得ることを目的とする。

◇　調査の期日

調査は、令和７年10月１日午前零時現在によって行う。

◇　調査の対象

調査の対象は、本邦（総務省令で定める島を除く。）に常住する者とする。

ただし、外国政府の外交使節団・領事機関の構成員（随員やその家族を含む。）及び外国軍隊の軍人・軍属とその家族を除く。

◇　調査事項

調査事項は、次のとおりとする。

⑴　世帯員に関する事項（13項目）

ア　氏名
イ　男女の別
ウ　出生の年月
エ　世帯主との続柄
オ　配偶の関係
カ　国籍
キ　現在の住居における居住期間
ク　５年前の住居の所在地
ケ　就業状態
コ　所属の事業所の名称及び事業の種類
サ　仕事の種類
シ　従業上の地位
ス　従業地又は通学地

⑵　世帯に関する事項（４項目）

ア　世帯の種類
イ　世帯員の数
ウ　住居の種類
エ　住宅の建て方

◇　調査の方法

⑴　調査の流れ

調査は、以下の流れにより行う。

ア　総務省－都道府県－市町村－指導員－調査員（又は民間事業者）－世帯
イ　総務省－都道府県－市町村－世帯

⑵　指導員及び調査員等

指導員及び調査員は、市町村長の推薦に基づき、総務大臣が任命する。指導員は、市町村長の指導を受けて、調査員に対する指導、調査票その他の調査関係書類の検査及びこれらに附帯する事務を行う。

調査員は、市町村長及び指導員の指導を受けて、担当調査区内にある世帯に係る調査票の配布・取集・検査、調査世帯一覧及び調査区要図の作成並びにこれらに附帯する事務を行う。

ただし、市町村長は、住居・施設等の管理者等が所属する民間事業者（組織、法人等）と調査員業務の委託契約を締結することができる。

⑶　調査の方法

調査は、インターネットで回答するための書類と紙の調査票を同時に配布する方法により行う。

ただし、総務大臣が指定する地域については、市町村長がオンライン調査回答用ＩＤ及び調査票を郵送により世帯に配布することができる。

調査の時期は、インターネットによる回答受付期間を紙の調査票による提出よりも前の段階に設定する方法により行う。

なお、世帯からの調査票の提出は、インターネットによる回答のほか、郵送による提出、調査員への提出のいずれかの方法により行う。

◇ **集計事項**

集計は、次に示す区分により行う。

なお、独立行政法人統計センターの年度目標により総務大臣が指示した集計については、同法人が策定した事業計画の認可を経て、同法人が当該業務を行うこととする。

(1) 速報集計
　人口速報集計（要計表による人口集計）
(2) 基本集計
　ア　人口等基本集計
　イ　就業状態等基本集計
(3) 抽出詳細集計
(4) 従業地・通学地集計
(5) 人口移動集計
(6) 小地域集計

◇ **結果の公表及び公表時期**

調査結果は、上記の集計区分に応じ、集計の完了したものから順次、インターネットへの掲載等により公表する。

なお、「人口速報集計（要計表による人口集計）」による全国・都道府県・市区町村別の人口総数については令和８年５月末までに、「人口等基本集計」による全国・都道府県・市区町村別の人口総数及び世帯数（確定人口及び世帯数）については令和８年９月末までに、それぞれ官報に公示する。

広報動画の御紹介

調査実施周知用動画、調査員募集用動画が完成しました。
国勢調査2025キャンペーンサイト、統計局動画チャンネル（YouTube）で順次公開します！

（調査実施周知用動画）

（調査員募集用動画）

国勢調査ロゴデザインの御紹介

国勢調査2025

国勢調査は「数ある調査の中でも最も大規模かつ重要」であることから、これを「最高峰の調査」と位置づけ、日本で最も標高の高い富士山をモチーフに使用しました。日本に住む全ての「人」が対象であることから、「人」という漢字を重ねて富士山を表現しています。

統計からみた我が国の高齢者

「敬老の日」（９月16日）にちなみ、統計からみた我が国の高齢者の人口と就業の状況について取りまとめましたので、その概要を紹介します。

Ⅰ　高齢者の人口

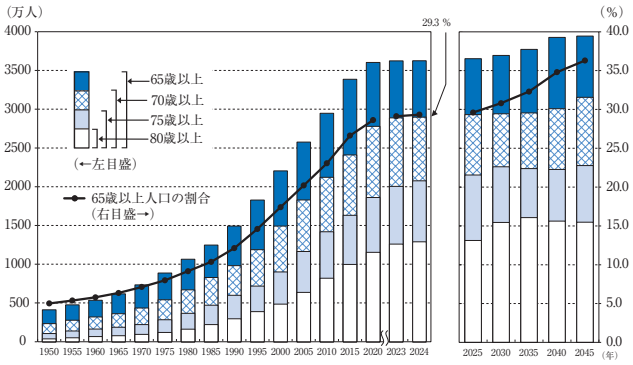
総人口が減少する中で、65歳以上人口は3625万人と過去最多。総人口に占める割合は29.3％と過去最高

我が国の総人口（2024年９月15日現在推計）は、前年に比べ59万人減少している一方、65歳以上人口は、3625万人と、前年（3623万人）に比べ２万人増加し、過去最多となりました。

総人口に占める割合は29.3％と、前年（29.1％）に比べ0.2ポイント上昇し、過去最高となりました。この割合の推移をみると、1950年（4.9％）以降一貫して上昇が続いており、1985年に10％、2005年に20％を超え、2024年は29.3％と過去最高を更新しています。

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、この割合は今後も上昇を続け、第２次ベビーブーム期（1971年～1974年）に生まれた世代が65歳以上となる2040年には34.8％、2045年には36.3％になると見込まれています。（図１）

図１　65歳以上人口及び割合の推移（1950年～2045年）



資料：1950年～2020年は「国勢調査」、2023年及び2024年は「人口推計」、2025年以降は「日本の将来推計人口（令和５年推計）」出生（中位）死亡（中位）推計（国立社会保障・人口問題研究所）から作成

注１）2023年及び2024年は９月15日現在、その他の年は10月１日現在
　２）国勢調査による人口及び割合は、2015年までは年齢不詳をあん分した結果、2020年は不詳補完結果
　３）1970年までは沖縄県を含まない。

日本の65歳以上人口の割合は、世界で最高※）

2024年の総人口に占める65歳以上人口の割合を比較すると、日本（29.3％）は世界で最も高く※）なっています。（表）

※）人口10万以上の200の国及び地域中

表　65歳以上人口の割合（上位10か国）（2024年）

順位	国・地域	総人口（万人）	65歳以上人口（万人）	総人口に占める65歳以上人口の割合（％）
1	**日本**	**12376**	**3625**	**29.3**
2	マルティニーク	34	9	25.3
3	プエルトリコ	324	80	24.7
4	イタリア	5934	1461	24.6
5	ポルトガル	1043	256	24.5
6	ギリシャ	1005	241	23.9
7	グアドループ	38	9	23.9
8	フィンランド	562	134	23.9
9	ドイツ	8455	1961	23.2
10	クロアチア	388	90	23.2

資料：日本の値は、「人口推計」の2024年９月15日現在
　　他国の値は、*World Population Prospects: The 2024 Revision*（United Nations）における将来推計から、人口10万以上の200の国及び地域の2024年７月１日現在の推計値

Ⅱ　高齢者の就業

65歳以上の就業者数は、20年連続で増加し914万人と過去最多

2023年の65歳以上の就業者※1）数は、2004年以降、20年連続で前年に比べ増加し、914万人と過去最多※2）となっています。

また、65歳以上の就業率※3）は25.2％となり、前年と同率になっています。

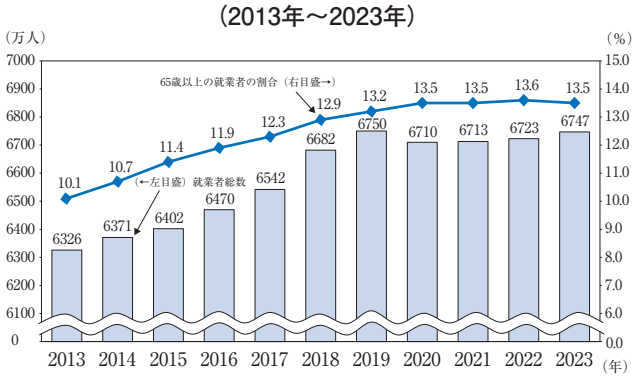
年齢階級別※4）にみると、65～69歳は52.0％、70～74歳は34.0％、75歳以上は11.4％と、いずれも過去最高※5）となっています。

※１）就業者とは、月末１週間に収入を伴う仕事を１時間以上した者、又は月末１週間に仕事を休んでいた者
※２）比較可能な1968年以降
※３）65歳以上の就業率は、65歳以上人口に占める65歳以上の就業者の割合
※４）年齢階級別就業率は、各年齢階級の人口に占める就業者の割合
※５）65～69歳は比較可能な1968年以降、70～74歳、75歳以上は比較可能な1978年以降

就業者総数に占める65歳以上の就業者の割合は、13.5％

15歳以上の就業者総数に占める65歳以上の就業者の割合は13.5％と、前年に比べ0.1ポイント低下しました。（図２）

図２　就業者総数に占める65歳以上の就業者の割合の推移（2013年～2023年）

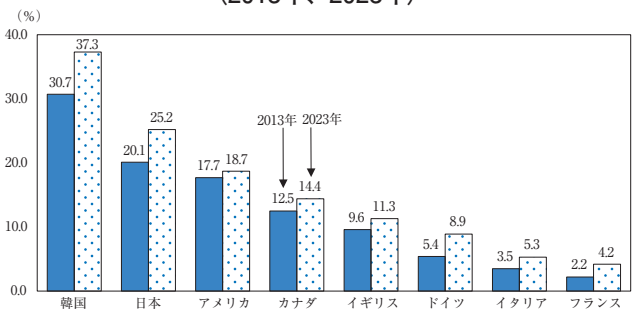


資料：「労働力調査」（基本集計）

日本の65歳以上の就業率は、主要国の中でも高い水準

主要国における65歳以上の就業率を10年前と比較すると、韓国（＋6.6ポイント）、日本（＋5.1ポイント）を始め、各国とも上昇しています。2023年の日本の65歳以上の就業率は25.2％となっており、主要国の中でも高い水準にあります。（図３）

図３　主要国における65歳以上の就業率の比較（2013年、2023年）



資料：日本の値は、「労働力調査」（基本集計）、他国は、OECD.Stat

地方統計大会等の開催予定（令和6年度）

10月18日の「統計の日」を中心として、各都道府県では、地方統計大会や統計功労者表彰式が開催され、統計功労者表彰及び統計グラフコンクール入選者等の表彰、講演会等が実施されます。
また、各都道府県の統計グラフコンクール入選作品の展示会も開催されます。

令和６年度地方統計大会等開催予定

（令和６年９月25日現在）

都道府県	開催年月日	開催時刻	統計大会等の名称	開催場所	
				市町村	会　場
北　海　道	R6 10 23 水	13：00－14：20	令和６年度北海道社会貢献賞（統計功労者）表彰式	札　幌　市	ホテル札幌ガーデンパレス
青　森　県	R6 11 14 木	13：00－15：30	第63回青森県統計大会	弘　前　市	弘前文化センター
岩　手　県	R6 11 14 木	13：30－15：30	第78回令和６年度岩手県統計大会	一　関　市	一関文化センター
宮　城　県	R6 11 13 水	13：00－15：30	令和６年度宮城県統計大会	岩　沼　市	岩沼市民会館
秋　田　県	R6 11 26 火	14：00－14：40	令和６年度秋田県統計功労者表彰式	秋　田　市	秋田県庁第二庁舎８階　大会議室
山　形　県	R6 11 29 金	13：30－16：00	第50回山形県統計大会	山　形　市	山形テルサ　テルサホール
福　島　県	R6 11 19 火	11：00－12：00	令和６年度福島県統計功労者表彰式	福　島　市	HOTEL SANKYO FUKUSHIMA　2階　芙蓉の間
新　潟　県			（今年度開催予定なし）		
茨　城　県	R6 12 25 水	13：30－14：30	令和６年度茨城県統計功労者表彰式	水　戸　市	茨城県庁舎11階1103会議室
栃　木　県			（今年度開催予定なし）		
群　馬　県	R7 1 24 金	14：00－15：00	令和6年度群馬県統計功労者表彰式	前　橋　市	群馬県庁　昭和庁舎　正庁の間
埼　玉　県	R6 11 21 木	14：00－15：30	令和６年度埼玉県統計功労者表彰式	さいたま市	さいたま市文化センター
千　葉　県	R7 2 27 木	13：15－16：00	令和６年度統計功労者表彰式及び統計調査員研修会	千　葉　市	青葉の森公園芸術文化ホール
東　京　都	R6 11 19 火	14：30－15：30	令和６年度東京都統計功労者表彰伝達式	新　宿　区	東京都庁第一本庁舎５階大会議場
神　奈　川　県	R6 12 14 土	11：00－12：00	令和６年度神奈川県統計功績者・統計グラフコンクール表彰式	横　浜　市	かながわ県民センター　ホール
山　梨　県	R6 11 19 火	13：00－14：30	令和６年度　統計功績者大臣表彰等伝達式、山梨県統計功績者表彰式	甲　府　市	やまなしプラザ　オープンスクエア（山梨県防災新館１階）
長　野　県	R6 11 20 水	11：20－12：00	令和6年度長野県統計功労者表彰式	長　野　市	ホテル国際21
静　岡　県	R6 11 28 木	13：30－15：30	静岡県統計功労者表彰式	静　岡　市	しずぎんホール　ユーフォニア
富　山　県	R6 11 19 火	14：00－14：45	富山県統計功労者表彰式	富　山　市	富山県庁４階大ホール
石　川　県	未定	未定	石川県統計功労者表彰式	金　沢　市	石川県庁
岐　阜　県	R6 11 15 金	14：00－15：00	令和６年度岐阜県統計功労者表彰式	岐　阜　市	岐阜県図書館　多目的ホール
愛　知　県	R6 11 26 火	14：00－15：00	令和６年度愛知県統計功労者表彰式	名古屋市	愛知県本庁舎　講堂
三　重　県	R6 11 18 月	14：00－15：00	令和６年度三重県統計功労者表彰式	津　　市	三重県庁講堂
福　井　県	R6 12 7 土	13：30－14：30	令和６年度福井県統計功労者表彰式	福　井　市	福井県国際交流会館 ３階特別会議室
滋　賀　県	R6 11 18 月	13：30－16：30	第15回滋賀県統計大会	大　津　市	琵琶湖ホテル
京　都　府	R7 1 23 木	14：30－15：30	令和６年度統計功労者表彰式	京　都　市	京都府立京都学・歴彩館　大ホール
大　阪　府	R6 12 5 木	13：00－14：00	令和６年度大阪府統計功労者表彰式	大　阪　市	シティプラザ大阪　４階　眺
兵　庫　県	R6 12 18 水	13：30－14：15	第22回　兵庫県統計大会	神　戸　市	ラッセホール
奈　良　県	R6 12 22 日	10：30－12：00	令和６年度 奈良県統計功労者表彰式　奈良県統計グラフコンクール表彰式	奈　良　市	奈良女子大学記念館
和　歌　山　県	R6 11 25 月	13：30－15：30	令和６年度和歌山県統計大会	和　歌　山　市	アバローム紀の国３階　孔雀の間
鳥　取　県	R6 11 15 金	13：30－15：00	令和６年度統計功労者表彰式	鳥　取　市	とりぎん文化会館　第２会議室
島　根　県	R6 12 20 金	13：30－15：30	令和６年度島根県統計功労者表彰式	雲　南　市	木次経済文化会館 チェリヴァホール
岡　山　県	R6 11 21 木	14：00－16：00	令和６年度岡山県統計功労者・統計グラフコンクール表彰式	岡　山　市	ピュアリティまきび
広　島　県	R6 11 27 水	14：00－15：00	令和６年度　広島県統計功労者表彰式	広　島　市	広島県民文化センター　多目的ホール
山　口　県	R6 11 15 金	13：00－15：00	令和６年度　山口県統計功労者表彰式	山　口　市	山口県庁職員ホール
徳　島　県	R6 12 18 水	13：30－15：30	第73回徳島県統計大会	徳　島　市	徳島県庁１１階　講堂
香　川　県	R6 11 14 木	10：30－11：00	令和６年度香川県統計功労者・統計グラフコンクール表彰式	高　松　市	香川県庁　特別会議室
愛　媛　県			（今年度開催予定なし）		
高　知　県	R6 11 28 木	10：30－11：30	令和６年度統計功績者表彰伝達式	高　知　市	高知会館　「飛鳥の間」
福　岡　県	R6 11 26 火	13：30－15：00	令和６年度福岡県統計功績者表彰式	福　岡　市	福岡県庁３階　講堂
佐　賀　県	R6 11 18 月	10：00－17：00	令和６年度統計功労者表彰式及び統計グラフ佐賀県コンクール表彰式	佐　賀　市	佐賀県庁旧館４階正庁
長　崎　県	R6 11 13 水	13：30－14：30	令和６年度統計功績者表彰伝達式及び統計グラフコンクール入賞者表彰式	長　崎　市	セントヒル長崎
熊　本　県	R7 1 22 水	14：00－15：00	令和６年度熊本県統計功労者表彰式	熊　本　市	熊本県庁　地下大会議室
大　分　県	R6 12 19 木	13：30－15：00	令和６年度大分県統計功労者表彰式	大　分　市	大分県庁新館１４階大会議室
宮　崎　県	R6 12 18 水	14：00－14：40	令和６年度統計功績者表彰式	宮　崎　市	宮崎県庁本館２階　県庁講堂
鹿　児　島　県	R6 12 7 土	13：30－15：00	令和6年度鹿児島県統計功績者表彰伝達式及び統計グラフコンクール表彰式	鹿　児　島　市	センテラス天文館　6階センテラスホール
沖　縄　県	R7 1 27 月	16：00－17：00	令和６年度沖縄県統計功績者表彰伝達式及び統計グラフコンクール入賞者表彰式	那　覇　市	沖縄県教職員共済会館八汐荘（屋良ホール）

※詳細は各都道府県にお問い合わせください。

令和7年度概算要求の概要

政府は、７月29日の閣議で「令和７年度予算の概算要求に当たっての基本的な方針について」を了解しました。本方針では、経済・財政一体改革を推進するが、重要な政策の選択肢をせばめることなく、歳出全般にわたり、施策の優先順位を洗い直し、無駄を徹底して排除しつつ、予算の中身を大胆に重点化することとされています。

総務省統計局、政策統括官（統計制度担当）では、本方針を踏まえ、以下のとおり概算要求を行いましたので、その概要について御紹介します。

統計局が所管する主な経費としては、令和７年国勢調査の実施経費として約936.7億円、令和８年経済センサス-活動調査の準備経費として約30.5億円、経済構造実態調査の実施経費として約31.4億円を計上しています。

また、「重要政策推進枠」として、統計データ利活用の推進、事業所母集団データの整備、統計人材の確保・育成、統計基盤デジタル化推進等の経費などを要望しています。

政策統括官（統計制度担当）が所管する経費については、統計専任職員配置費、国連アジア太平洋統計研修所への協力に必要な経費など約103.4億を計上しています。

令和７年度概算要求額（統計局・政策統括官（統計制度担当））

（単位：千円）

事　　項	前年度予算額（A）		令和７年度要求額（B）		比較増△減額（B－A）	
	総　額	うち　委託費	総　額	うち　委託費	総　額	うち　委託費
一般会計						
（項）総務本省共通費	296,343	0	322,505	0	26,162	0
＜うち主なもの＞						
・統計委員会運営経費	41,384	0	43,191	0	1,807	0
（項）統計調査費	32,965,736	16,696,969	117,353,477	90,663,144	84,387,741	73,966,175
＜うち主なもの＞						
・労働力調査	1,740,271	1,692,730	1,908,887	1,860,633	168,616	167,903
・小売物価統計調査	714,713	709,775	778,693	772,842	63,980	63,067
・家計調査	1,377,373	1,327,595	1,465,470	1,415,462	88,097	87,867
・個人企業経済調査	139,795	0	142,513	0	2,718	0
・科学技術研究調査	42,729	0	37,748	0	△ 4,981	0
・人口移動報告	3,628	0	3,799	0	171	0
・統計調査経常業務運営費	50,563	26,956	51,536	26,956	973	0
・家計消費状況調査	684,736	0	755,932	0	71,196	0
・サービス産業動態統計調査	146,765	0	473,877	0	327,112	0
・サービス産業動向調査	348,860	0	0	0	△ 348,860	0
	[70,171,593]	[58,283,909]			[23,500,337]	[18,489,906]
・国勢調査経費	2,658,050	1,004,823	93,671,930	76,773,815	91,013,880	75,768,992
	[70,171,593]	[58,283,909]			[23,500,337]	[18,489,906]
令和７年国勢調査費	0	0	93,671,930	76,773,815	93,671,930	76,773,815
	[0]	[0]			[0]	[0]
令和７年国勢調査準備費	2,658,050	1,004,823	0	0	△ 2,658,050	△ 1,004,823
・経済センサス経費	7,794,367	34,358	3,163,156	273,929	△ 4,631,211	239,571
	[144,399]	[0]			[△ 75,281]	[0]
令和６年経済センサス-基礎調査費	7,611,897	0	69,118	0	△ 7,542,779	0
	[4,704,123]	[550,421]			[△ 1,656,687]	[△ 309,821]
令和８年経済センサス-活動調査準備費	148,782	13,943	3,047,436	240,600	2,898,654	226,657
調査区管理費	33,688	20,415	46,602	33,329	12,914	12,914
	[10,758]	[0]			[△ 5,431]	[0]
・住宅・土地統計調査経費	0	0	5,327	0	5,327	0
	[669]	[0]			[128]	[0]
・全国家計構造調査経費	2,707,057	2,232,998	797	0	△ 2,706,260	△ 2,232,998
	[2,711]	[0]			[13,614]	[0]
・社会生活基本調査経費	989	0	16,325	0	15,336	0
・経済構造実態調査経費	3,220,982	0	3,142,732	0	△ 78,250	0
令和６年経済構造実態調査費	3,123,699	0	208	0	△ 3,123,491	0
令和７年経済構造実態調査費	0	0	3,142,524	0	3,142,524	0
令和５年経済構造実態調査費	180	0	0	0	△ 180	0
令和７年経済構造実態調査準備費	97,103	0	0	0	△ 97,103	0
・個人消費動向を捉える新たな指標の開発	392,180	0	392,264	0	84	0
・統計データ利活用の推進	47,872	35,254	72,903	2,239	25,031	△ 33,015
・事業所母集団データ整備費	142,898	0	142,899	0	1	0
・統計人材の確保・育成	44,566	0	86,643	0	42,077	0
・統計基盤デジタル化推進等経費	0	0	353,256	0	353,256	0
・統計指導者講習会実施経費	6,429	5,896	6,429	5,896	0	0
・産業連関表作成費	21,605	0	61,848	0	40,243	0
・統計調査員対策費	63,207	43,189	63,207	43,189	0	0
・統計調査の環境改善のための普及啓発活動費	21,455	12,487	21,046	12,487	△ 409	0
・公的統計基本計画等推進費	128,648	0	151,940	0	23,292	0
・統計専任職員配置費	9,569,948	9,569,948	9,474,736	9,474,736	△ 95,212	△ 95,212
・国連アジア太平洋統計研修所への協力に必要な経費	391,258	960	417,473	960	26,215	0

注）[　]内は前回（令和２年度）予算額を示す。
注）オンライン調査システム等、政府情報システム関連予算については、デジタル庁において計上している。

とうけい通信㉟

家計調査からみる前橋市

群馬県総務部統計課

○　はじめに

群馬県は日本列島のほぼ中央にあって、県西・県北地域には山々が連なり、南東部には関東平野が開ける内陸県です。面積は約6,362㎢と全国で21位となります。そんな群馬県（の県庁所在地の前橋市）を家計調査（二人以上の世帯）品目別都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング（令和３年から令和５年）の金額で見ていきたいと思います（全52市）。

○　生うどん・そばが好き

穀類の分類で見ると、生うどん・そばが２位とうどん県といってもいいような順位となります。しかし、乾うどん・そばは21位と平均的です。うどん・そばは好きだが、さっと茹でて食べられる方が好まれているようです。ちなみに、即席麺は51位となります。

○　魚を食べるならまぐろ、さけ

内陸県、海なし県のためか、生鮮魚介は43位、中でもイカやエビが50位と全体的に下位になります。そんな中、まぐろは９位、さけは10位と、この二つだけ比較的に上位になります。生鮮魚介を購入するときはまぐろ、さけということでしょうか。

○　お肉はあまり食べません

山間部を中心に畜産農家も多くあり、生鮮魚介の支出が少ないので、お肉は平均より食べているかと思ったのですが、生鮮肉は52位と最下位、内訳を見ても牛肉50位、豚肉46位、鶏肉51位、他の生鮮肉49位となります。他市の例だと、例えば牛肉は下位だけど、豚肉は上位又は中位より上となるようですが、どの肉も食べていないようです。

○　野菜は生産地が近いため‥‥

生鮮野菜は、30位と中位からやや下の状況です。品目別にみて上位にあるものと言えばきゅうりが６位にあるほかは、キャベツ47位、ねぎ47位、ブロッコリー42位、レタス31位と、軒並み下位が目立ちます。特に、キャベツと言えば群馬県は夏秋キャベツの出荷量が日本一（野菜生産出荷統計）なので、産地に近く新鮮なものが手に入るため、消費も多くて良いはずですが、そうはなっていません。しかし、金額ではなく数量を見ると、きゅうり１位、キャベツ９位、ねぎ26位、ブロッコリー14位、レタス７位と上位から中位になるものも出てきます。その他の野菜も、金額の順位より数量の順位が上位になる例が多く見られます。生産地が近く安価で提供されるため、消費量と消費金額が伴っていないためと思われます。

○　果物はいちご

果物は７位と比較的上位になります。中でも、いちご１位、りんご５位、梨10位となります。果物も生産地が近く、新鮮なものが手に入るため、消費額も多くなっていると思われます。

○　お弁当で手間をかけずに食事？

調理食品では、弁当が３位、すし（弁当）３位、調理パン５位となります。手間をかけずにすぐ食べられるものが、好まれているのかもしれません。また、生鮮魚介は43位と下位だったのですが、すし（弁当）が３位だというのは、少し意外な結果です。

○　夏が暑いからか飲料は上位

飲料は１位となります。中でも茶飲料２位、乳酸菌飲料は２位、茶類４位、スポーツドリンク10位となります。

近年、夏になると、前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市‥‥など群馬県の地名が、天気予報やニュースで猛暑日、酷暑日、最高気温地点、熱中症警戒アラート等々の地域として出てきます。今年の夏も毎日のように聞いたのではないでしょうか。飲料の消費額が多いのは、この夏の暑さが大きな原因の一つだと思われます。

○　外食もうどん・そば

外食は27位と中位になります。日本そば・うどんは６位と生うどん・そばの２位ほどではありませんが上位になっており、そば・うどん好きの傾向が出ています。

すし（外食）は48位と、すし（弁当）３位とは真逆の結果になりました。すしはお店で食べるより、持ち帰って家で食べたいようです。

○　最後に

皆様のイメージとどれくらい違ったでしょうか。少しでも群馬県に興味を持っていただければ、幸いです。

※画像：観光ぐんま写真館提供
https://gunma-kanko.jp/library

最近の数字

		人口	労働・賃金			産業		家計（二人以上の世帯）		物価	
		総人口（推計による人口）	就業者数	完全失業率（季節調整値）	現金給与総額（規模5人以上）	鉱工業生産指数（季節調整値）	サービス産業の月間売上高	1世帯当たり消費支出	1世帯当たり可処分所得（うち勤労者世帯）	消費者物価指数 全国	消費者物価指数 東京都区部
		千人（Pは万人）	万人	%	円	2020＝100	兆円	円	円	2020＝100	2020＝100
実数	2024. 4	124002	6750	2.6	295,709	100.8	33.0	313,300	453,011	107.7	107.0
	5	P 12393	6766	2.6	297,162	104.4	P 32.5	290,328	376,084	108.1	107.4
	6	P 12389	6822	2.5	498,887	100.0	P 33.9	280,888	813,616	108.2	107.5
	7	P 12396	6795	2.7	403,090	103.1	P 33.6	290,931	568,191	108.6	107.8
	8	P 12385	6815	2.5	P 296,588	P 99.7	…	297,487	482,029	109.1	108.4
	9	P 12378	…	…	…	…	…	…	…	…	P 108.1
			%	ポイント	%	%	%	%	%	%	%
前年同月比	2024. 4	−	0.1	＊ 0.0	1.6	＊ −0.9	3.5	0.5	−2.6	2.5	1.8
	5	−	0.3	＊ 0.0	2.0	＊ 3.6	P 3.2	−1.8	5.3	2.8	2.2
	6	−	0.5	＊ −0.1	4.5	＊ −4.2	P 2.3	−1.4	8.5	2.8	2.3
	7	−	0.3	＊ 0.2	3.4	＊ 3.1	P 4.0	0.1	7.3	2.8	2.2
	8	−	0.6	＊ −0.2	P 3.0	＊P −3.3	−	−1.9	3.7	3.0	2.6

（注）P：速報値　＊：対前月
家計（二人以上の世帯）の前年同月比は実質値

掲示板　統計関係の主要日程（2024年10月～2024年11月）

≪会議及び研修関係等≫

時期	概要	時期	概要
10月1日	統計データアナリスト研修「本科（総合課程）」開講【集合】（～12月3日）	11月中旬	オンライン統計研修【第3回】統計データアナリスト研修「統計データアナリスト研修」開講（～12月中旬）
11月上旬	オンライン統計研修【第3回】統計取扱業務担当職員向け研修「初めて学ぶ統計」開講（～12月上旬）	〃	オンライン統計研修【第3回】データ利活用コース「政策評価と統計」開講（～12月上旬）
〃	オンライン統計研修【第3回】統計実務職員（統計データアナリスト補）研修「統計利用の基本」開講（～12月上旬）	〃	オンライン統計研修【第3回】データ利活用コース「ビッグデータ利活用－基礎から応用まで－」開講（～12月上旬）
〃	オンライン統計研修【第3回】データ利活用コース「政策立案と統計」開講（～12月上旬）	〃	オンライン統計研修【第3回】データ利活用コース「データサイエンス入門」開講（～12月上旬）
〃	オンライン統計研修【第3回】統計作成実務コース「国民・県民経済計算」開講（～12月上旬）	〃	オンライン統計研修【第3回】データ利活用コース「データサイエンス演習」開講（～12月中旬）
中旬	オンライン統計研修【第3回】統計取扱業務担当職員向け研修「統計担当者向け入門」開講（～12月中旬）	〃	オンライン統計研修【第3回】データ利活用コース「誰でも使える統計オープンデータ」開講（～12月中旬）
〃	オンライン統計研修【第3回】統計実務職員（統計データアナリスト補）研修「調査設計の基本」開講（～12月上旬）	〃	オンライン統計研修【第3回】統計作成実務コース「産業連関表の作成・分析」開講（～12月上旬）
〃	オンライン統計研修【第3回】統計実務職員（統計データアナリスト補）研修「統計分析の基本」開講（～12月中旬）		

≪調査結果の公表関係≫

時期	概要	時期	概要
10月1日	労働力調査（基本集計）2024年8月分公表	11月12日	労働力調査（詳細集計）2024年7～9月期平均公表
4日	小売物価統計調査（ガソリン）2024年9月分公表	20日	人口推計（2024年6月1日現在確定値及び2024年11月1日現在概算値）公表
8日	家計調査（家計収支編：2024年8月分）公表	22日	消費者物価指数（全国：2024年10月分）公表
〃	家計消費状況調査（支出関連項目：2024年8月分）公表	〃	小売物価統計調査（全国：2024年10月分）公表
〃	消費動向指数（CTI）2024年8月分公表	〃	住民基本台帳人口移動報告（2024年10月分）公表
18日	消費者物価指数（全国：2024年9月分）公表	〃	第74回日本統計年鑑（令和7年）刊行
〃	小売物価統計調査（全国：2024年9月分）公表	29日	労働力調査（基本集計）2024年10月分公表
21日	人口推計（2024年5月1日現在確定値及び2024年10月1日現在概算値）公表	〃	消費者物価指数（東京都区部：2024年11月分（中旬速報値））公表
25日	消費者物価指数（東京都区部：2024年10月分（中旬速報値））公表	〃	小売物価統計調査（東京都区部：2024年11月分）公表
〃	小売物価統計調査（東京都区部：2024年10月分）公表	〃	サービス産業動向調査（2024年9月分速報及び2024年7～9月期速報並びに2024年6月分確報及び2024年4～6月期確報）公表
〃	家計調査（貯蓄・負債編：2024年4～6月期平均）公表		
〃	住民基本台帳人口移動報告（2024年9月分）公表		
29日	労働力調査（基本集計）2024年9月分及び7～9月期平均公表		
〃	経済構造実態調査（2023年三次集計結果）公表		
31日	サービス産業動向調査（2024年8月分速報及び2024年5月分確報）公表		
11月8日	家計調査（家計収支編：2024年9月分及び2024年7～9月期平均）公表		
〃	家計消費状況調査（支出関連項目：2024年9月分及び2024年7～9月期平均 ICT関連項目:2024年7～9月期平均）公表		
〃	消費動向指数（CTI）2024年9月分及び2024年7～9月期平均公表		
〃	小売物価統計調査（ガソリン）2024年10月分公表		

編集発行　総務省統計局
〒162－8668　東京都新宿区若松町19－1
総務省統計局 統計情報利用推進課 情報提供第一係
TEL 03－5273－1160　E-mail y-teikyou1@soumu.go.jp
ホームページ　https://www.stat.go.jp/
御意見・御感想をお待ちしております。

印刷用の紙にリサイクルできます。